

BACCALAURÉAT TECHNOLOGIQUE

SESSION 2011

JAPONAIS

Langue vivante 1

Séries **ST2S, STI, STL, STG**

Séries ST2S, STI, STL et STG option GSI : 2 heures – coefficient 2

Série STG options Mercatique, CGRH et CFE : 2 heures – coefficient 3

L'usage de la calculatrice et du dictionnaire est interdit.

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.
Ce sujet comporte 3 pages numérotées de 1/3 à 3/3.

Séries STI et STL	Compréhension	12 points
	Expression	8 points
Séries STG et ST2S	Compréhension	10 points
	Expression	10 points

点字

みな
皆さんの中で、駅の自動券売機¹の表面²に、小さな点のうき出た³ところがあるのに気づいた人はいませんか。よく注意してみると、郵便局や市役所などの中でも見
ゆうびんきょく しやくしょ
つかるかもしれません。それは、点字とって、目の不自由な人が、指でさぐって
ゆび
読む文字なのです。

- 5 今、世界で使われている点字は、1825年、フランスのルイ・ブライユという人が考え出したものです。ルイ・ブライユは1809年に生まれ、3歳で目が見えなくなりました。10歳で盲学校⁴に入って、13歳から16歳にかけてその新しい記号⁵のシステムを考え出しました。

- 10 日本では、それを五十音に組みかえて使っています。この点字は、たて3点、横2列の6点で一文字が作られています。これらの点を、あるものは打ち出し⁵、あるものは空白にしておく組み合わせで、五十音と、そのほか10数種類の記号⁶ができるのです。さらに、記号と文字とを組み合わせ、数字やローマ字、音符⁶などを表すこともできます。盲学校の子もたちは、これらを使って作られた教科書で勉強しています。

	あ	い	う	え	お
あ行	● ○ ○ ○ ○ ○	● ○ ● ○ ○ ○	● ● ○ ○ ○ ○	● ● ● ○ ○ ○	○ ● ● ○ ○ ○

- 15 知識⁷や考え、思いを伝え合うことができるのは、文字の持つ大きな力です。目の不自由な人の中にその文字、点字を持ち込んだのは、ルイ・ブライユでした。最近では、目が見えない人にも普通の文字が打てる盲人⁷用コンピューターとか、本を読んでもくれる機械⁸などが作られています。これからも、人間のちえ⁸は、人々の心を結ぶ便利な道具⁸や方法を考え出し、多くの人を喜ばせるでしょう。

おおしまけんすけちよ
大島健甫著 「手と心で読む」 に基づいて

¹自動券売機： distributeur automatique de tickets

²表面： surface

³うき出た： en relief

⁴盲学校： 目の見えない人のための学校

⁵打ち出す： faire ressortir en relief

⁶音符： note de musique

⁷盲人： 目の見えない人

⁸ちえ： sagesse, intelligence

COMPRÉHENSION

A 次の質問に日本語で答えてください。

1. どこではじめて点字が使われたのですか。
2. どうしてこの点字はブライユといいますか。
3. 日本では普通、フランスと同じ点字を使っていますか。なぜですか。
4. 目が見えない人たちは何を使って点字を読みますか。
5. 「青い家」を点字で書いてください。
6. ルイ・ブライユはどんな人でしたか。

EXPRESSION

Traitez, en **400 signes** environ, l'un des deux sujets suivants. Vous indiquerez sur votre copie le numéro du sujet choisi.

Sujet 1 : フランスでは体の不自由な人のために何をしますか。

Sujet 2 : 文字が読めることが役に立つと思いますか。どうしてですか。